

生ごみたい肥化容器等購入費補助金交付者に対するアンケートの回答結果について

令和6年3月実施

アンケート対象

令和4年度に八千代市生ごみたい肥化容器等購入費補助金制度を利用し、補助金の交付を受けた方

39名

アンケート送付数	39
アンケート回答数	19
回答率	48.72%

問1 補助金制度はどのように知りましたか。（3つまで回答可）

回答数	19
未回答数	0
回答率	100.0%

	延べ回答数	割合
1 広報やちよ	4	16.7%
2 市のホームページ	12	50.0%
3 八千代市民便利帳	1	4.2%
4 容器等の販売店（通信販売除く）	1	4.2%
5 八千代市民祭のリサイクルフェア	0	0.0%
6 ごみ減量学習会等の講座	0	0.0%
7 知人・友人	0	0.0%
8 テレビ・ネットショップ等による通信販売	0	0.0%
9 その他	6	25.0%
計	24	100.0%

問2 補助金の額に満足していますか。

回答数	19
未回答数	0
回答率	100.0%

	回答数	割合
1 適当	11	57.9%
2 少ない	8	42.1%
3 多い	0	0%
計	19	100.0%

問3 補助金制度がなくても容器等を購入しましたか。

回答数	19
未回答数	0
回答率	100.0%

	回答数	割合
1 購入した	8	42.1%
2 購入しなかった	11	57.9%
計	19	100.0%

問4 補助金制度を活用し、購入した容器等は何ですか。また、その数はいくつですか。

回答数	19
未回答数	0
回答率	100.0%

	回答数	割合
1 コンポスト容器（1基）	3	15.8%
1 コンポスト容器（2基）	2	10.5%
2 EM容器（1基）	0	0.0%
2 EM容器（2基）	0	0.0%
3 電気式生ごみ処理機（1基）	14	73.7%
計	19	100.0%

問5 購入した容器等を使用し、生ごみを処理していますか。

回答数	19
未回答数	0
回答率	100.0%

	回答数	割合
1 積極的に使用しており、生ごみはほとんど容器等で処理している	11	57.9%
2 使用しており、生ごみは容器等での処理と、可燃ごみでの排出を併用している	6	31.6%
3 あまり使用していないため、生ごみはほとんど可燃ごみで排出している	2	10.5%
4 現在は容器等を使用していない	0	0.0%
5 その他	0	0.0%
計	19	100.0%

問6 問5で1～3を選択した方にお伺います。割合はどのくらいですか。

回答数	19
未回答数	0
回答率	100.0%

- 1 容器等で処理している割合
- 2 可燃ごみで処理している割合

	回答数	割合
1 (1) 10% (2) 90%	3	15.8%
2 (1) 20% (2) 80%	0	0.0%
3 (1) 30% (2) 70%	0	0.0%
4 (1) 40% (2) 60%	1	5.3%
5 (1) 50% (2) 50%	2	10.5%
6 (1) 60% (2) 40%	1	5.3%
7 (1) 70% (2) 30%	2	10.5%
8 (1) 80% (2) 20%	1	5.3%
9 (1) 90% (2) 10%	9	47.4%
計	19	100.0%

問7 問5で4を選択した方にお伺いします。容器等の使用期間はどのくらいでしたか。

回答数	0
未回答数	19
有効回答数	0
有効回答率	0%

問8 問7を回答した方にお伺いします。選択した使用期間となった理由はなんですか。

回答数	1
未回答数	18
有効回答数	0
有効回答率	0%

問9 たい肥はどのように利用していますか。

回答数	19
未回答数	0
回答率	100.0%

	回答数	割合
1 家庭菜園等の肥料に使う	9	47.4%
2 庭にまく	0	0.0%
3 可燃ごみに出す	9	47.4%
4 知人・友人に提供する	1	5.3%
5 その他	0	0.0%
計	19	100.0%

問10 容器等の使用前と使用後で、1週間あたりの可燃ごみの量は変わりましたか。

回答数	19
未回答数	0
回答率	100.0%

	回答数	割合
1 減った	16	84.2%
2 ほとんど変わらない	3	15.8%
3 増えた	0	0.0%
計	19	100.0%

問11 問10の回答に関して、1週間あたりのごみ袋の容量とその枚数はどのくらい変わりましたか。

回答数	18
未回答数	1
有効回答数	11
有効回答率	57.9%

容器等使用前			容器等使用後			減容率
容量 (ℓ)	袋数 (袋)	容量 合計 (ℓ)	容量 (ℓ)	袋数 (袋)	容量 合計 (ℓ)	
40	1	40	30	1	30	
20	1	20	10	1	10	
40	4	160	40	2	80	
30	1	30	20	1	20	
20	1	20	10	1	10	
40	2	80	40	1	40	
30	2	60	30	1	30	
20	3	60	10	3	30	
40	1	40	20	1	20	
20	6	120	40	3	120	
100	1	100	100	1	100	
-	-	730	-	-	490	32.9%

問12 現行の補助金制度に関して、何かご意見や改善点などがあれば教えてください。

(例) 申請書の修正時、事務に負担を感じた。交付決定までに時間がかかったので、もっと早く買えるようにして欲しい。

回答数	13
未回答数	6
回答率	68.4%

- ・もう少し手続きを簡単にしたい。最初から購入先を指定してもらえると楽だと感じた。
- ・最初に申請しようとした年には助成金が上限に達していて諦めて1年待ちました。(夏頃)補助金を年2回位に分けてもらえたら良いと思う。
- ・補助率をもっと上げてほしい。
- ・年度の始めだけでなく、四半期ごとに予算が配分されていると良い。
- ・制度自体があまり知られていない感じがするので生ごみの減量化を進めるためにもっと周知したほうがよい。
- ・補助金制度そのものについて、どのようなモノがあり、利用できるのかがほとんど分からない。ホームページで目に付く位置に掲載する、メール配信の項目に追加して年度当初に配信する、新たにパンフレットを作成して掲示するとともに駅などに配備するなど、もっと市民に知ってもらう機会を増やす事が重要だと考える。
また、予算がなくなり次第申請出来ないと担当者に聞いたが、市民にとっては大きなメリットがある制度なので、もっと予算配分を見直し、多くの市民が利用出来るようにして貰いたい。
- ・安いものをかったためか電気式生ごみ処理機1年程で故障して、使えないでいます。
このような場合の救済措置があると助かります。
- ・特にありません。
- ・購入前に申請しなければいけないところが煩わしく感じました。
- ・対象人数が少なすぎと思いました。
- ・ネットでも申請できるようにして欲しい。
- ・20年以上前に1台目を購入し、ゴミの減量と匂いがないメリットが大きかったので、壊れた時に、即購入を決めました。
価格の変動が日々変わるネット購入となりましたが、丁寧に教えていただき、スムーズに申請出来て助かりました。
- ・ネット購入したのもあり？価格変動等があるので事務手続きのタイムロスで申請の手間や、買いたいタイミングで買えるかというヒヤヒヤ感がありました。
ただ、申請降りて購入する際に価格変動していても対応してもらえたのは助かりました。

問13 ごみの減量のために心がけていることやアイデアなどがありましたら教えて下さい。

(例) 食べ物を残さない。詰め替え商品を買う。

回答数	12
未回答数	7
回答率	63.2%

- ・ 生ごみ処理機を使用する以外に、使い終わった茶殻やコーヒー殻はネットに入れて天日干しして、水分を抜いてから捨てています。
詰め替え商品を買うよう心掛けてます。
- ・ 家庭菜園を始め、生ごみは出来るだけ堆肥に変えて使っています。
- ・ 詰め替え商品や簡易包装を優先。なるべく資源ごみに分別。食べ切る。使い切る。不要な買い物を減らす。
シュレッダーゴミや雑紙、プラごみも分別ゴミに出せる(出し易い)ようにして欲しい。
- ・ 基本的に、詰め替え商品を買うようにしている。
- ・ 食品ロスは出さないように食材の把握と管理をしっかりと行うようにしている。
食品トレーや牛乳パック、紙などはスーパーやドラッグストアの回収ボックスに出す。
- ・ 紙を減らす。紙は両面に印刷する。
キャベツなどの葉物野菜は、あまり食べない外側の部分は店で取ってくる。
量が多い食材は、小分けにして冷凍する。
- ・ 詰め替え商品を買う。
- ・ リサイクルできるものはなるべくするようにしています。
生ゴミは全てリサイクラーを使っているので十分の一くらいになります。
- ・ 必要な分だけつくる、買う。
- ・ できるだけパック入りのお惣菜を買わない。
- ・ 野菜の皮はできるだけ剥かない。詰め替え商品。トレーより袋詰めの商品。紙ゴミの分別。
- ・ リサイクルできる容器のものを買ったり、詰替を買ったら、食べ切れる量買うなど心がけてはいます。
が、物価高騰もあり、安さ優先するまでエコから遠のくものもあるので正直難しい選択です。

(総評)

- ・ アンケートの回答率は約48%であった。
- ・ 回答者の5割以上の方が、補助金制度がなければ容器等は購入していないと回答した。
- ・ 回答者の約8割以上の方が、容器等の使用前と使用後を比べて、可燃ごみの量が減ったと回答した。また、その減容率は約32%であった。
- ・ 補助金制度を市のホームページにて知ったと回答した方が回答者の5割に上った。
- ・ 補助金制度を市民にもっと周知した方が良いという意見が複数あった。